

令和2年6月17日

静岡県吹奏楽連盟加盟団体各位

静岡県吹奏楽連盟
会長 寺島明彦
理事長 小田木保二

令和2年度静岡県吹奏楽コンクール開催中止について

平素より本連盟の事業及び運営に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、昨年までのような活動ができず、大変辛い毎日をお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて、皆様も御存じの通り、先日、4月12日の常任理事会において、本年度の静岡県吹奏楽コンクールについては、全部門中止を決定し、発表させていただきました。

この発表に至るまで、常任理事会においては様々な議論を行いました。そこでの懸念事項については以下のようなものがありました。

- 1 現時点において新型コロナウイルス感染の終息時期は全く予想できず、未だに拡大を続けており、楽観的な判断はできないということ
(発表当時には国からの緊急事態宣言は出ておりませんでした。何らかの動きはあるものとは推測しておりました。)
- 2 吹奏楽部の活動そのものが「3密」を避けることが難しく、また、危惧する声も校内から上がっている学校もあるということ。また、地区大会、県大会開催にあたっては、練習、準備、演奏等において「3密」の状態が避けられないこと
- 3 連盟として、コンクールなどの主催行事に責任を持って当たらなければならないという立場から、参加者の安全を最優先するという道を選択したこと。
- 4 4月当初の県教育委員会通知により、8月までの部活動については、校外に出掛ける練習や合宿・遠征など泊を伴う活動、対外試合等の禁止、生徒が密集するような練習の制限が課されていること
- 5 県代表となった団体が長野県のホクト文化ホールで予定されている東海大会への出場を考えた時、長野県へのバス等での移動・チューニングや舞台袖待機・ステージ演奏のためには「3密」の状態が避けられず、また、宿泊も必要となるため、出場することが許可されない恐れのあること
- 6 東海吹奏楽連盟の常任理事会においても、秋期に開催される行事の実施の可否が検討されているということ
- 7 連盟の会議についても新型コロナウイルス感染の拡大状況によっては、4月12日の常任理事会が、理事が顔を合わせて検討できる最後の機会になるかもしれないと考えたこと

このような内容について検討した結果、本年度の静岡県吹奏楽コンクールについては中止という苦渋の決断に至りました。このことについて御理解をいただければ幸いです。

なお、この決定の発表の時期及び方法について、いち早く決定して県内の加盟団体へ文書で周知するべきであるとの判断に基づいておりましたが、SNS等での拡散等によって全国的な反響を呼び起こし、大きな混乱を招いたことに際して、皆様に改めて深くお詫び申し上げます。